2025.2.21

保護者の皆様へ

彩都敬愛幼稚園

園長 城谷大樹

2025年度についてのお知らせ

日頃より、本園の方針にご理解を賜りましてありがとうございます。今年度の保育日数も20日を切り、いよいよ卒園進級の時期がやってまいりました。

毎日門に立っていますと時折、入園進級当初の頃を鮮明に思い出すことがあります。制服に着替えることを嫌がりパジャマのまま登園した日、おうちの方と離れたくなくて引き離す私の顔を何度も叩いた日、初めて一人でお部屋に行けた朝におうちの方と泣きながらガッツポーズをした日、声を出して挨拶してくれた日。

毎朝が予測不能でにぎやかで色鮮やか。そんな一日の始まりが私は開園以来大好きです。

さて、2008年4月に開園して以来、「ありがとう ごめんなさいと言える素直で明るい子を育てます」という理念の下、教育を続け、卒園児数は1200名を超え、次年度には本園の卒園児が教育実習に訪れるまで歴史を紡いできました。これもひとえに保護者の皆様が本園の教育にご理解いただいているからと感謝いたします。

一方で、2日間徹夜で並んで受付し、全クラス35名だった本園も少子化の影響を受け、園児数は2020年度以降、減少し続けている中でも9クラスの運営をなんとか続けてきました。

様々な取り組みの成果もあって、次年度は園児数が微増しますが、今年度末で退職する職員が複数居ることから経営状況と子どもたちの育ちを改めて見直した結果クラス数を

年少3クラス・年中3クラス・年長3クラスの合計9クラスから、

年少3クラス・年中2クラス・年長2クラスの合計7クラスに、次年度は変更することと致しました。

このことから、年少は引き続き少人数でゆったりと、心のつながりを大切に過ごし、年中と年長は1クラスの園児数が最大33名まで増えることで、運動会や造形展などひとつひとつの行事の迫力やボリュームが増す事や、クラスメイトで切磋琢磨する事で逞しさも育まれます。

今回のお知らせで戸惑いがあるかもしれませんが、1クラスの人数が増えることで保育の質が落ちるという事はありませんので、併せてご理解いただければと思います。